

平成19年度当初予算 主な新規要求事業一覧

番号	事業名及び所管課	事業の概要
1	国民保護訓練費 [危機管理課]	県国民保護計画・マニュアルの実効性を検証するために、国及び市町村と共同で図上訓練を実施 事業概要 ・国と共同で緊急事態対処(大規模テロ等)に係る図上訓練をロールプレイング方式で実施 図上訓練実施案 [訓練参加者] 国緊急事態対策本部(内閣官房、消防庁、警察庁、国土交通省、陸上自衛隊、航空自衛隊等) 県緊急事態対策本部 (県、県警察本部、県教育委員会) 市町村国民保護対策本部(関係する市町村) [期間] 1日
2	全国瞬時警報システム整備事業費 [危機管理課]	弾道ミサイル発射情報、緊急地震速報等の各種緊急情報を、人工衛星を通じて瞬時に国から入手できるシステムを整備 事業概要 ・「全国瞬時情報システム」は、現在消防庁で開発中 ・H19に都道府県へ衛星モデムを無償配布予定 ・県では、受信に必要な回線及び装置を整備 その他 ・全国瞬時情報システムの概要 国からの緊急情報を衛星回線を用いて受信し、直接瞬時に伝達するシステム
3	広域防災センター集客促進事業費 [危機管理課]	広域防災センターの集客力、学習機能を強化するため、展示設備等を改修するとともに、自主企画事業を実施 事業概要 <展示物の改修・内装のリニューアル> 自主企画等ができる環境の整備 ・既設ブース撤去(壁面フラット化)、パネル展示用設備整備、既設パネル等改訂等 <ソフト事業の充実強化> 自主企画事業実施 ・年間を通じて、パネル展、イベント等を実施 ・パネル展は、時期に合った必要な資料を一同に展示 ・イベントは、防災グッズ販売会、夏休み子ども講座、震災語り部講演会等開催を予定 <予約なしで楽しめる展示づくり> 来館者が操作、学習できる設備整備 ・パソコン上で郵便番号により震度を予想 ・災害アーカイブ映像の放映等
4	遺失物管理システム整備事業費 [会計課]	改正遺失物法(19年12月施行予定)に基づく遺失物管理システムの整備に要する経費 改正遺失物法の柱 ・ <u>拾得物の早期発見・返還のための手続きの整備</u> ・社会・経済情勢の変化や物件の種類に応じた合理的な拾得物の取扱い ・施設占有者の負担軽減 遺失物管理システムの整備 ・県内拾得物件及び全国の貴重な物件(1万円以上、個人情報関係等)の情報をインターネットで公表

安全・安心な暮らしづくり

平成19年度当初予算 主な新規要求事業一覧

番号	事業名及び所管課	事業の概要
5	子どもを犯罪から守る総合対策費 [会計課]	<p>教育用DVD作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たんぼぼ班（小学校等を訪問し、連れ去り事案防止教育等を実施）」の派遣要請が増加 「たんぼぼ班」の派遣による教育が困難な小学校等への貸出等に使用するアニメDVDを作成 <p>防犯寺子屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボランティア団体立ち上げのノウハウがない者、立ち上げたが活動の低調な団体が存在 防犯対策や犯罪発生傾向等の専門教養を実施し、正しい知識を持った防犯ボランティアリーダーを育成 <p>子どもの見守り誘導旗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボランティアによる「子ども見守り活動」に使用する誘導旗を作成(4,000本)し、防犯ボランティア団体に配布 18年度に街頭犯罪抑止対象地域12地域に配布したところ好評なため、19年度は県内で活動中のすべての防犯ボランティア団体に配布
6	携帯発信地表示システム事業費 [会計課]	<p>GPS携帯電話からの110番通報者の位置を特定するためのシステム構築に要する経費</p> <p>携帯電話からの110番の位置情報（緯度、経度等）を通信指令システムの地図表示画面に表示させ、瞬時に位置把握</p> <p>通報者の安心感、現場までの臨場時間の短縮、検挙率向上等が図られる。</p>
7	高齢者が安心して暮らせる出前講座 訪問事業費 [環境生活政策課]	<p>高齢者への有効な伝達手段として、「交通安全」「地域安全」「消費者安全」をセットで広報・啓発</p> <p>高齢者安全・安心総合出前講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村老人クラブの研修会等において、高齢者を対象にした安全・安心に関する総合的なテーマによる出前講座を開催 <p>高齢者安全・安心世帯訪問事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア等が老人クラブ未加入世帯を中心に訪問し、交通安全グッズや、高齢者にも分かりやすい防犯や消費生活に関するチラシを配布、指導
8	特定鳥獣（ツキノワグマ）保護管理計画策定費 [地球環境課]	<p>平成18年度、ツキノワグマの目撃及び捕殺頭数が急増したため、県民の安全確保と適切な保護管理の実施を目的として、特定鳥獣保護管理計画を作成するための調査を実施する。</p> <p>【新】特定鳥獣（ツキノワグマ）保護管理計画策定費 特定鳥獣保護管理計画の策定に必要な科学的生息調査（平成19年度及び20年度）を実施。 平成21年度に、特定鳥獣保護管理計画を策定。</p>

平成19年度当初予算 主な新規要求事業一覧

番号	事業名及び所管課	事業の概要
9	医療機能情報公表関連経費 [医療整備課] [薬務水道課]	<p>医療法及び薬事法改正（H19.4.1施行）に伴い、医療機関等の医療機能に関する情報等を集約し、インターネットで県民に情報提供する体制を整備</p> <p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民による医療機関等の適切な選択を支援 ・ 医療サービスの充実 <p>情報提供の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院等の管理・運営・体制に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> … 診療日時、安全管理体制、医師等の略歴等 ・ 情報提供や医療連携体制に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> … 他の病院等との連携の状況、セカンドオピニオンの実施状況 等 ・ 医療の内容（医療機能）、実績に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> … 診療・治療内容、在宅医療の実施、手術件数 <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機能情報公表システムの開発 ・ 医療関係台帳システムの改修 <ul style="list-style-type: none"> … 公表システムへの情報提供機能を追加 ・ 薬事関係台帳システムの改修 <ul style="list-style-type: none"> … 公表システムへの情報提供機能を追加
10	女性医師再就業支援研修事業費 [医療整備課]	<p>医師確保対策として、結婚・出産・子育て等を機に離職した女性医師に対し、臨床研修を実施し、県内医療機関への再就業を支援</p> <p>事業内容</p> <p>県立病院において、最長3ヶ月の臨床復帰を目的とした研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者：結婚、出産・子育て等を機に離職した県内女性医師で研修後、県内医療機関への就業を希望する者 ・ 対象人数：5名程度 ・ 研修場所：県立3病院 ・ 研修内容：女性医師が専門とする診療科において、臨床を中心とした研修を実施
11	病院内保育所夜間運営費補助金 [医療整備課]	<p>医療従事者の離職防止及び再就業を支援するため、医療施設が通常保育の運営に加えて、医療従事者の夜勤等に対応できる時間延長型保育を実施する場合、運営に要する保育士の人件費に対し助成</p> <p>補助要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の開所時間が11時間を超える施設で21時以降又は16時間以上開所している施設 ・ 実施日数は年間48日以上
12	災害派遣医療チーム体制整備事業費 [医療整備課]	<p>災害派遣医療チーム「岐阜DMAT」が医療活動を行うために必要な医療機材を整備</p> <p>< DMATとは ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害の急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣チーム ・ 広域医療搬送、病院支援、域内搬送等を実施 <p>< 指定病院（県が指定） ></p> <p>DMATは、県より派遣要請を受けたDMAT指定医療機関が被災地へ派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜大学医学部付属病院、中津川市民病院 <p>< DMATの編成 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定病院の職員をもって編成 ・ 1チームの基準：5名程度

平成19年度当初予算 主な新規要求事業一覧

番号	事業名及び所管課	事業の概要
13	喘息死ゼロ作戦事業費 [保健医療課]	<p>地域のかかりつけ医と救急病院の連携体制を構築し、喘息の発作時に速やかな処置ができるような体制を整備</p> <p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喘息管理・治療ガイドラインの普及 <ul style="list-style-type: none"> …病院や診療所等の医療関係者を対象とした研修を実施 ・協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> …病診連携の構築に係る問題点について協議 ・患者情報の共有 <ul style="list-style-type: none"> …喘息患者登録票、患者カード等の普及・活用 ・喘息医療機関情報把握及び提供 <ul style="list-style-type: none"> …地域の喘息診療担当医師・医療機関名簿の作成
14	教職員定数 栄養教諭 [教職員課]	<p>食育推進基本計画に基づき食育推進のあり方を実践的に研究するため栄養職員を栄養教諭に任用替え</p> <p>役割</p> <p>食のカウンセラー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏食傾向や肥満傾向、痩身願望の強い児童生徒などに対する生活習慣病予防の観点からの相談指導 ・食物アレルギーへの対応の観点からの相談指導 <p>食に関する指導のコーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食時間、家庭科や保健体育科等の関連教科、特別活動の時間等において学級担任や教科担任と連携 ・食に関する指導に係る全体的な計画の作成など学校全体の取り組みに企画段階から中心的に携わる ・親子料理教室の開催などを通じ、家庭や地域と連携して啓発
15	食育推進プラン事業費 [スポーツ健康課]	<p>栄養教諭を中核とし、学校が中心となって家庭・地域と連携した食育のあり方を実践的に研究</p> <p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の指導体制と指導の充実 ・学校、家庭、地域が連携した指導体制の整備、指導内容の充実 ・学校給食における地場産物の活用の推進 ・肥満、生活習慣病の予防のための生活習慣改善プログラム作成
16	いじめ相談24時間相談 事業費 [学校支援課]	<p>児童生徒等の悩みの解決を図るため、24時間体制で「いじめストップ相談ダイヤル」(フリーダイヤル)を運営</p> <p>運営方法 平日夜間、休日にいじめストップ相談ダイヤルへの電話を相談員の持つ携帯電話に転送</p> <p>現行の電話相談体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめストップ相談ダイヤル(平日8:30~18:15) <ul style="list-style-type: none"> 総合教育センターにいじめ問題電話相談専門職(教員OB)を設置 面談相談も臨床心理士が対応 ・教育相談ほほえみダイヤル(平日8:30~18:15) <ul style="list-style-type: none"> 教育事務所等7箇所に教育電話相談員(教員OB)を配置
17	小中連携による教育相談力向上研究事業費 [学校支援課]	<p>いじめを中心とした問題行動と不登校の未然防止を図るため、市町村教育委員会に教育相談コーディネーターを配置し、小中学校の連携強化とスクールカウンセラーや相談員の相談力向上を目指す</p> <p>県内6市町村をモデル的に指定し、研究委託</p>